

2011年7月5日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 山手線ホームドア 2013年度までの完成予定駅について

JR東日本では、ホームでのお客さまの転落、列車との接触などの防止対策として、山手線へのホームドア導入に取り組んでおりますが、先行2駅（恵比寿駅・目黒駅）での検証状況を踏まえ、今年度より本格的な工事に着手してまいります。2013年度までの完成予定について、お知らせします。

### 1. 2013年度までの完成予定駅について

以下の順に完成を予定しております。具体的な完成日時については、別途お知らせいたします。

2012年度 大崎駅、池袋駅

2013年度 大塚駅、巣鴨駅、駒込駅、新大久保駅、目白駅、高田馬場駅、田町駅

### 2. 2014年度以降の整備計画について

現時点で大規模改良が予定される4駅（新橋、渋谷、新宿、東京）を除き、全体の工事完成時期は2017年度末を見込んでおりますが、少しでも早期に整備できるよう引き続き検討してまいります。

2014年度以降の完成予定駅につきましては、工事計画がまとまり次第、お知らせいたします。

先行2駅での検証結果の例

現時点の仕様であり、今後の検証状況により変更する場合があります。

・定位置停止装置(TASC)の向上

Train Automatic Stop Control system

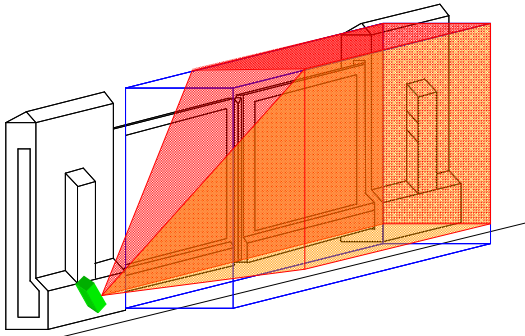
列車の停止位置データを調査・分析し、停止精度向上に向けたTASC装置の改良、走行試験を実施

・ホームドア高性能センサー(継続)

安全確保の上で有効に機能。一部、列車遅延を誘発する事象が発生したため改修

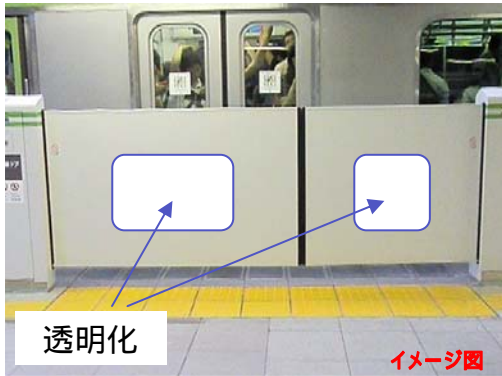
・緊急脱出口(継続)

異常時にお客さまを安全にホームへ誘導できる緊急脱出口について、有効に機能したことから継続整備



・先頭車用の幅広扉の視認性向上

先頭車用の幅広扉(特殊開口扉)についても、強度を確保して一部を透明化し、視認性を向上



・車掌用定位置表示灯の整備

定位置に停止したことを車掌に知らせる表示灯を設置し、停車位置不良発生時の遅延を抑止



ホーム基礎工事

・盛土式ホームにおける施工方法の改良

〔盛土式ホーム…土を盛って構築したホーム(大塚、駒込駅の一部など)〕

施工方法の改良を継続して行い、工期短縮とコストダウンを実現

